

個人投資家説明会



大阪有機化学工業株式会社
OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<https://www.ooc.co.jp>

証券番号 4187(東証プライム)

2026年 2月4日



1. 大阪有機化学工業株式会社について
2. 業績 (実績と今期予想)
3. 成長戦略
4. 株主還元

1. 大阪有機化学工業株式会社について
2. 業績 (実績と今期予想)
3. 成長戦略
4. 株主還元

会社概要

会社名 大阪有機化学工業株式会社

創立 1941年12月8日

設立 1946年12月21日

代表者 安藤 昌幸 (代表取締役社長)

上場市場 東証プライム (証券コード: 4187)

従業員数 467名 (連結)

資本金 36億29万円

売上高 362億円 (FY25, 新収益認識基準)

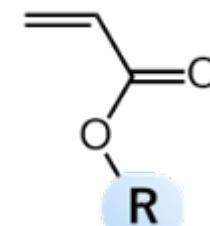
経営理念

わたしたちは、一人ひとりの個性を大切にし、
ユニークな機能を備えた材料を提供することにより、
お客様と共に社会の発展に貢献します

経営ビジョン

特殊アクリル酸エステルのリーディングカンパニーとして、
グローバル市場に価値を提供する

アクリル酸エステル



事業拠点



2014年～
光碩(上海)化工貿易有限公司



2024年～
韓国大阪有機化学工業株



新設

2025年～
Visnex Chemicals
Corporation



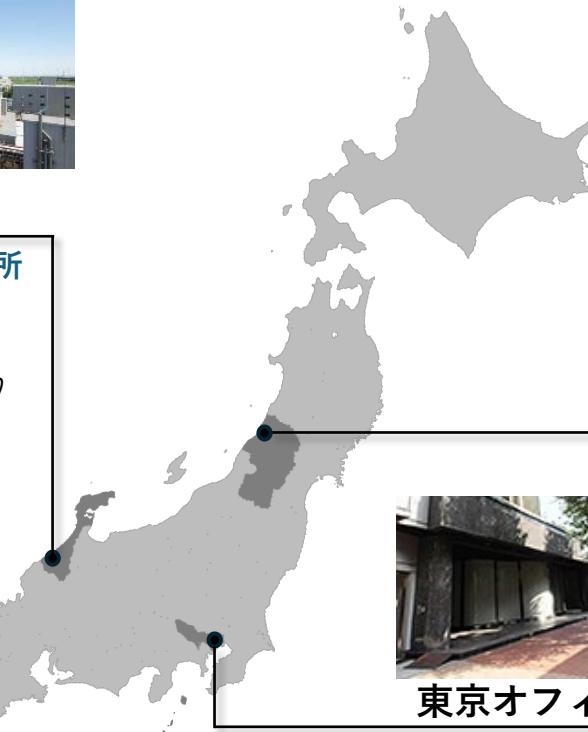
本社
営業所
ISO-9001

神港有機化学工業株



金沢工場

製造所 研究所
100,281m²
ISO-9001
ISO-14000



東京オフィス
営業所
ISO-9001



大阪事業所

事業所 研究所
26,472m²
ISO-9001



酒田工場

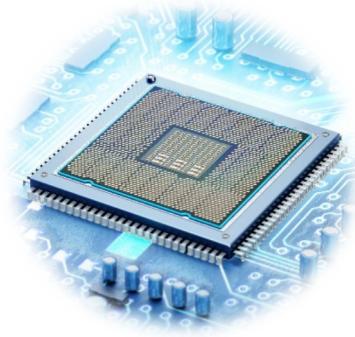
製造所
122,265m²
ISO-9001
ISO-14000
ISO-45001

●当社事業拠点

2026.02.04現在



半導体レジスト用モノマー

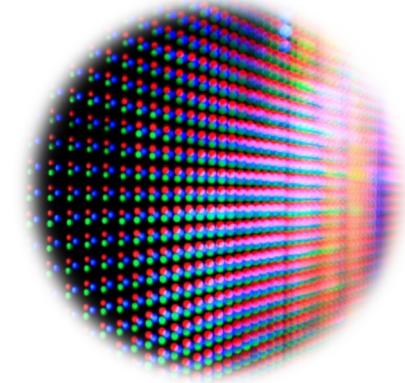


世界
シェア
1位

※ArFレジストモノマー

見えないけれど、あなたのそばに。

ディスプレイ用
レジスト材



OOC

自動車塗料



ヘアケア製品原料



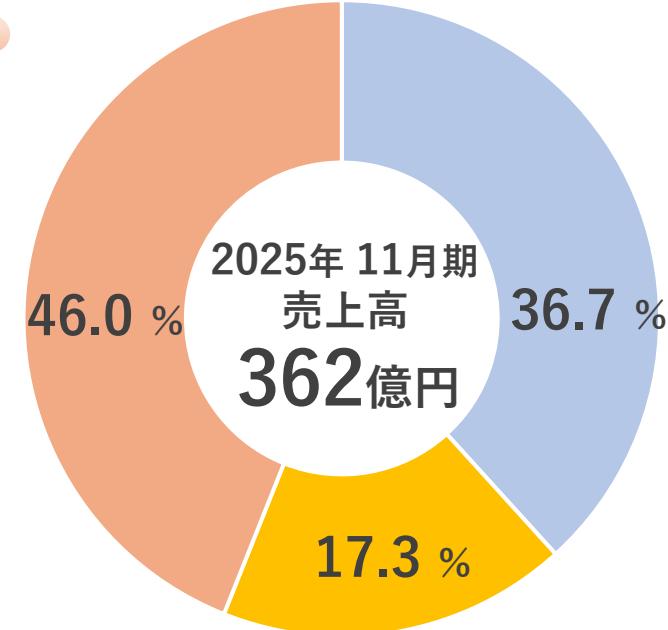
各事業セグメント 売上高比率

電子材料事業

表示材料用レジスト、ポリマー

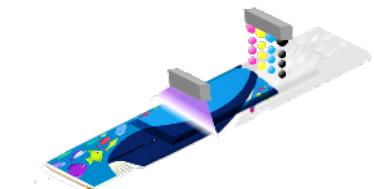


半導体用原料



化成品事業

自動車塗料用原料 インクジェット用原料



特殊粘着剤用原料



コンタクトレンズ用原料



機能化学品事業

電子材料用溶剤



ヘアケア用ポリマー

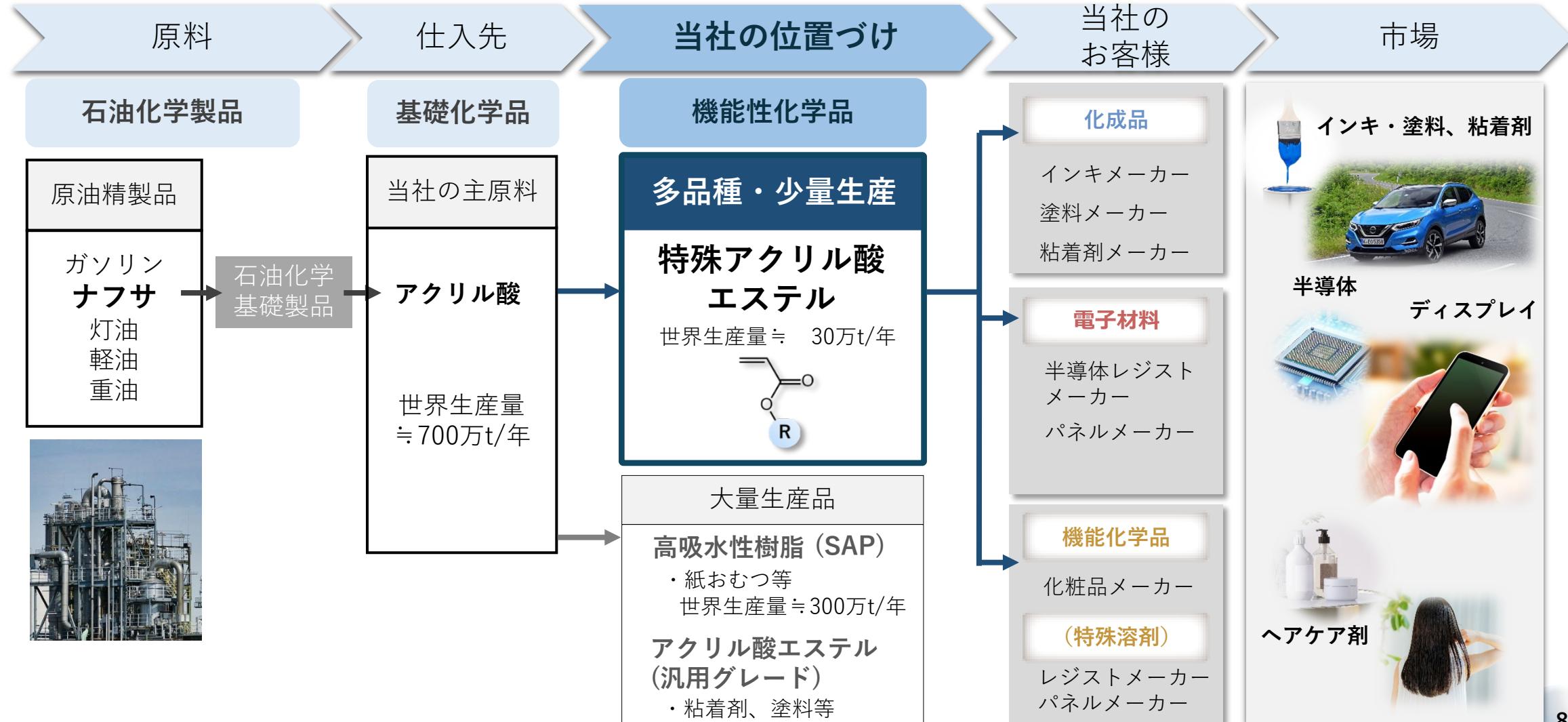


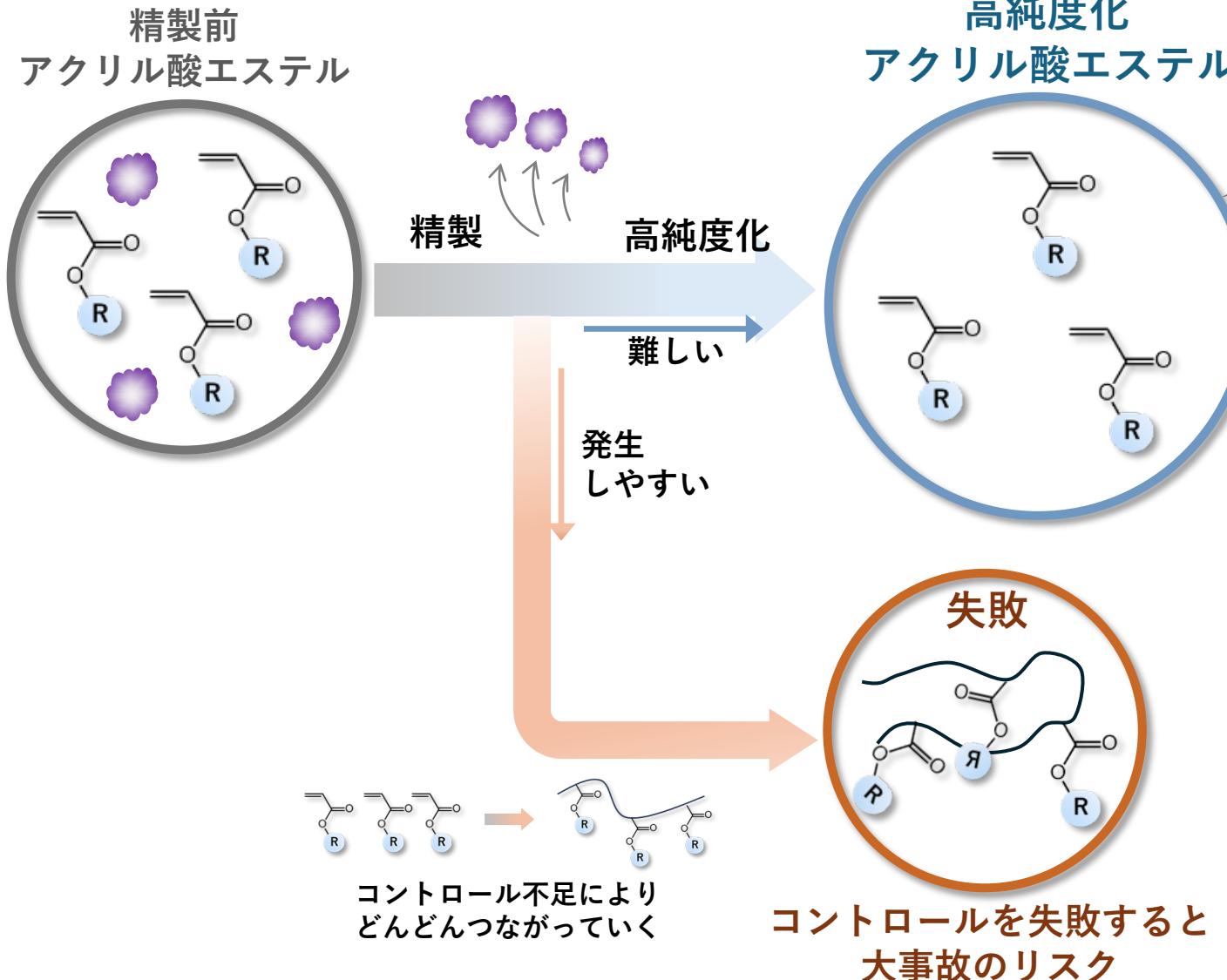
曇り止め材料



当社事業の位置づけ

特殊アクリル酸エステルの**多品種少量生産**を得意とする **B to B** メーカー。
多彩な製品群を有し、世界でトップシェアの品目を何種類も保有しています。





【高純度による提供価値】

- 低粘度 ⇒ インク性能UP
- 低毒性 ⇒ 生体適合性UP
- 低臭気 ⇒ 化粧品品質UP
- 低金属 ⇒ 半導体性能UP

例えば、
半導体用材料の金属レベルは pptオーダー*

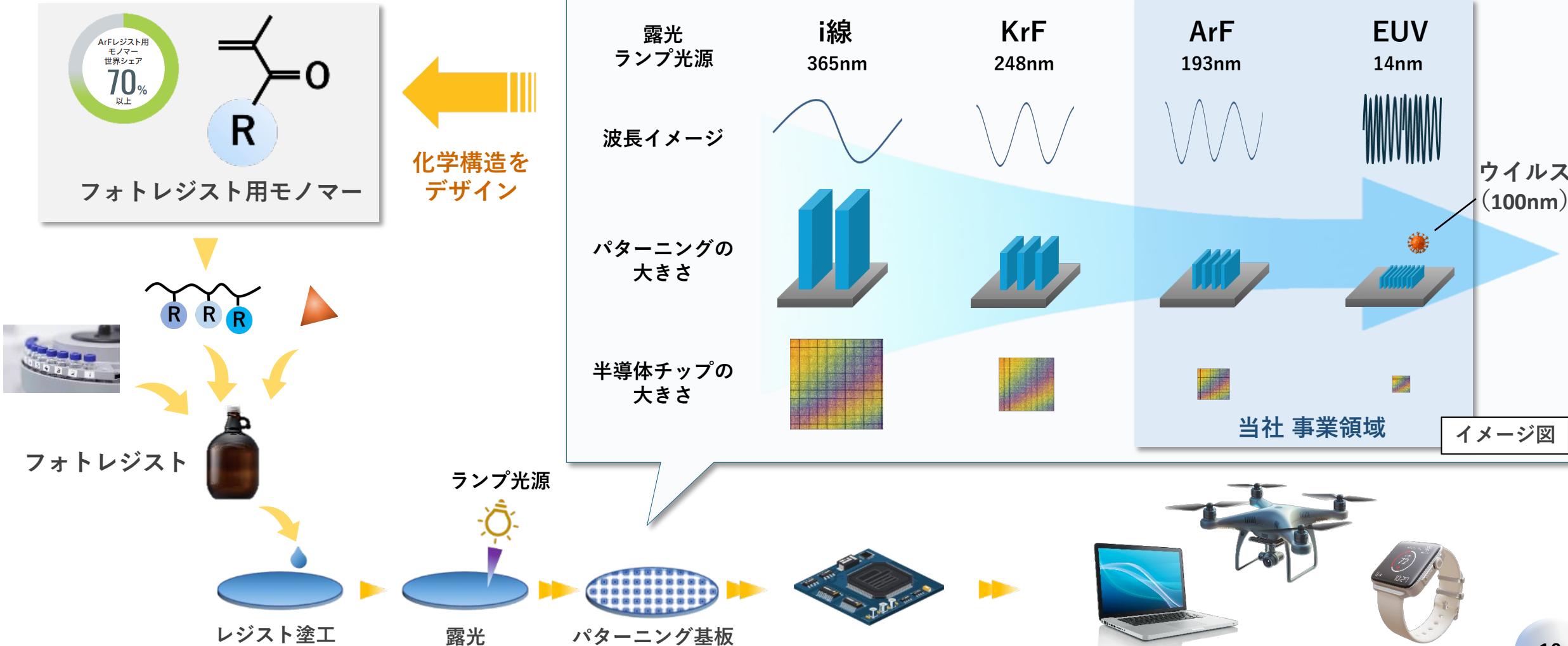
杉の木 1本の場合
ほぼすべての花粉を取り除くイメージ



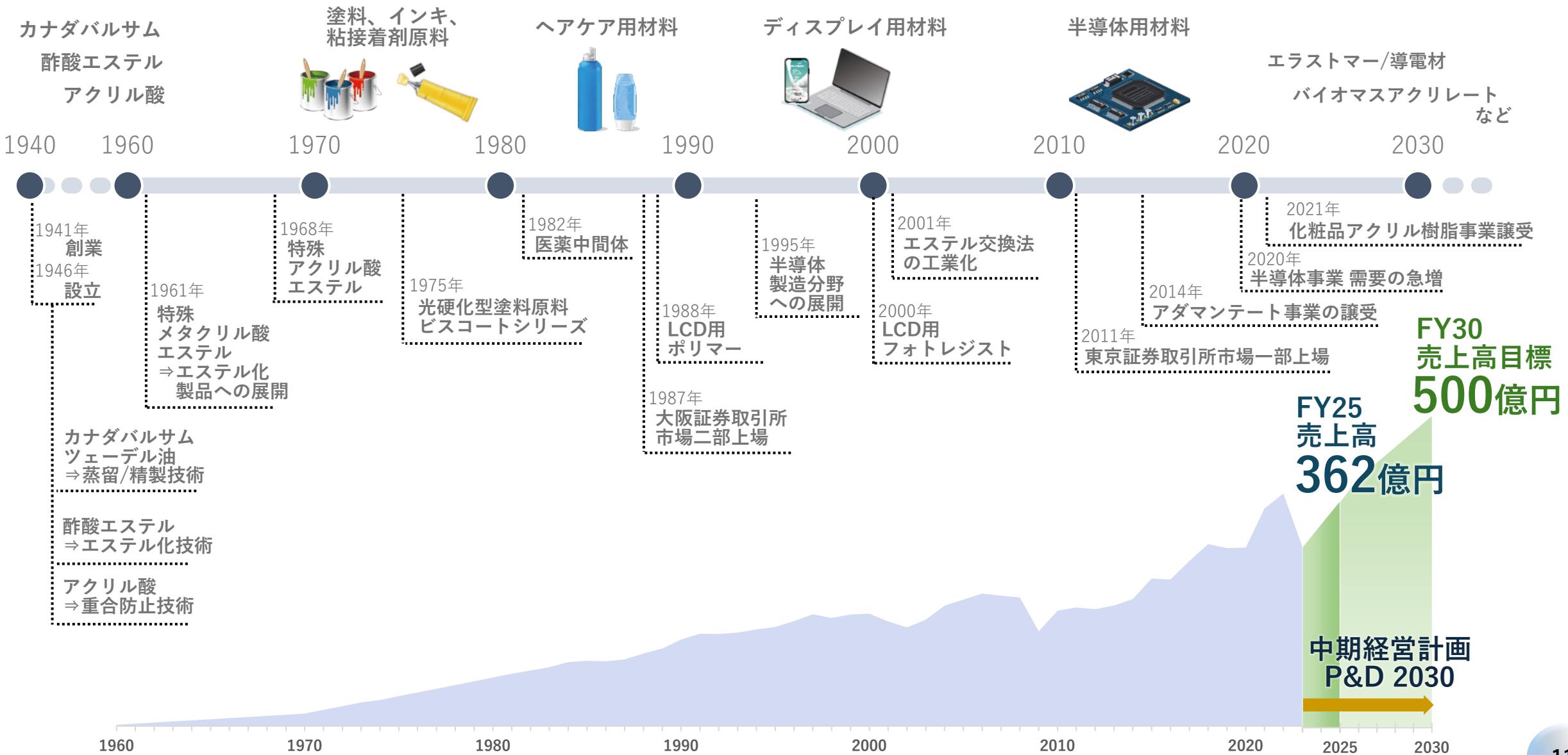
*1ppt=1兆分の1

電子材料事業 (半導体用フォトレジスト原料)

半導体製造で重要なフォトリソグラフィー工程で使用される**フォトレジスト**において
当社は**ArFレジスト用原料のトップシェア(70%以上)**。また、**最先端EUVレジスト用材料**も提供しております。



沿革・価値創造の歩み



1. 大阪有機化学工業株式会社について
2. 業績 (実績と今期予想)
3. 成長戦略
4. 株主還元

業績 / 資本効率性

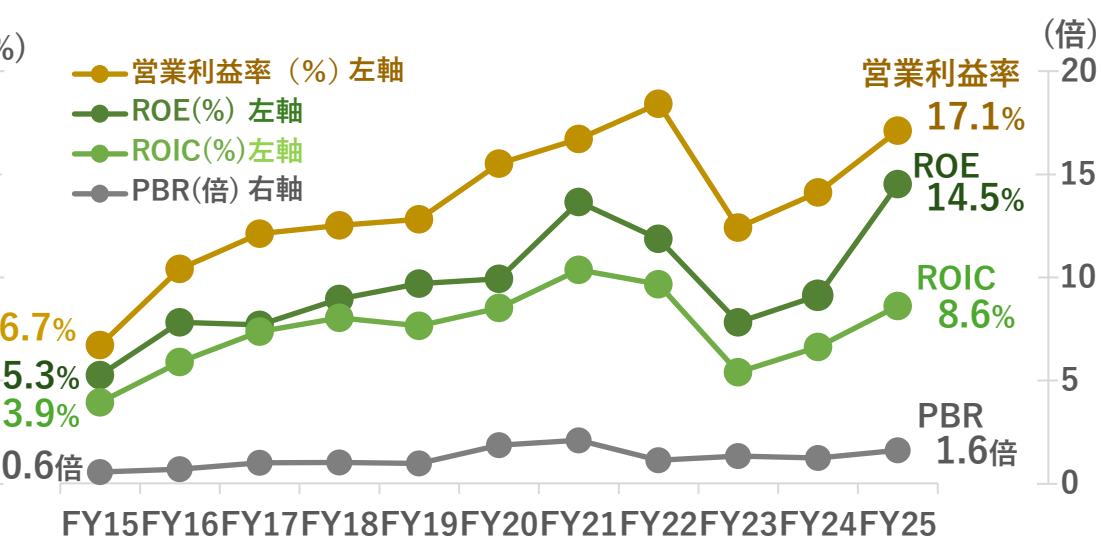
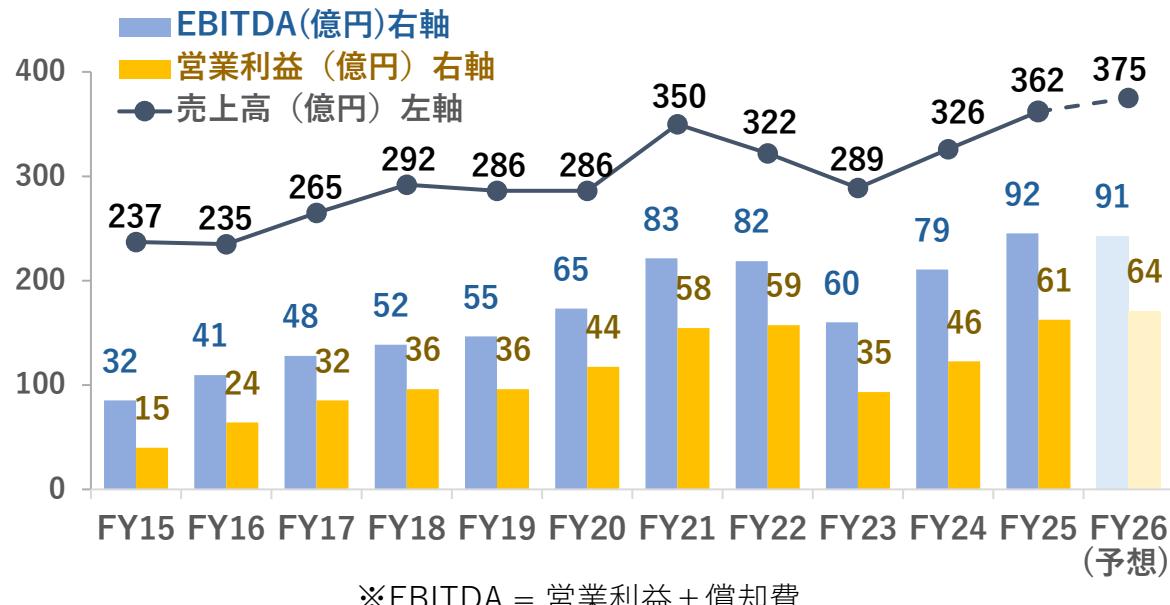
当社は技術開発力に強みを持ち、成長事業への積極的な投資により売上を向上。また、効率性も重視し、長期的かつ持続的な成長を目指しています。

年平均成長率 (FY15~FY25)

売上高	4.3 %/年
営業利益	14.6 %/年
EBITDA	10.9 %/年
EPS	19.4 %/年

経営指標の変化 (FY15~FY25)

営業利益率	6.7 %	⇒	17.1 %
ROE	5.3 %	⇒	14.5 %
ROIC	3.9 %	⇒	8.6 %
PBR	0.6 倍	⇒	1.6 倍



2025年11月期 実績 と 2026年11月期 業績予想

2025年度11月期は、各セグメントにて業績が好調。売上高 362億円。(前年同期比 10.9%増)

2026年11月期は、売上高は12億円增收の375億円と予測。

営業利益は減価償却費の減少などにより2億円増益の64億円の見込み。

(※純利益の減少は主に、前期に31億円の補助金収入を特別利益として計上した影響)

	FY24	FY25		前年度比 (FY25/FY24)		(百万円)	FY26	前年度比 (FY26/FY25)	
	実績	予想	実績	増減額	増減率		予想	増減額	増減率
売上高	32,698	34,000	36,265	+3,566	+10.9%		37,500	+1,234	+3.4%
営業利益	4,608	5,000	6,187	+1,578	+34.2%		6,400	+212	+3.4%
経常利益	4,753	5,200	6,557	+1,803	+37.9%		6,600	+42	+0.6%
純利益*	4,044	3,500	6,887	+2,842	+70.3%		4,500	△2,387	△34.7%
国内ナフサ (¥/KL) (当社推定)	75,600	75,000	67,225	—	—		60,000	—	—
為替 (¥/\$)	150	155	149	—	—		145	—	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

1. 大阪有機化学工業株式会社について
2. 業績（実績と今期予想）
3. 成長戦略
4. 株主還元

中期経営計画 P&D 2030 目標値と現在値(売上高/営業利益)

2024～2026年までのStage1目標に対し、売上高は堅調に増加。営業利益、営業利益率は達成。
2026年度での目標達成に向けて施策を投じてまいります。

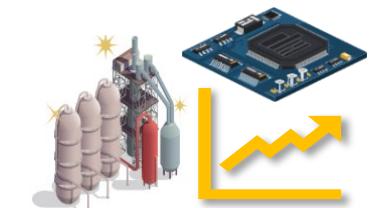
	目標値			
	2024年 実績	2025年 実績	Stage 1 ～2026年	Stage 2 ～2030年
売上高	326 億円	362 億円	400 億円	500 億円
営業利益	46 億円	達成 61 億円	56 億円	75 億円
売上高営業利益率	14.1 %	達成 17.1 %	14.0 %	15.0 %
戦略・事業投資			累積 300 億円以上	
ROE	9.1 %	※14.5 % 補助金除く10.1%	10.0 %	12.0 %
ROIC	6.6 %	8.6 %	8.0 %	9.0 %
配当性向	34.5 %	修正配当性向 32.6 %	40 %目安	
PBR	1.2 倍	1.6 倍		

※「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」
31億4千万円を特別利益として計上

【中期経営計画施策トピックス】

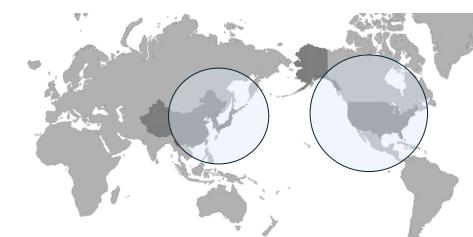
・事業の深化

- 先端半導体用の新規設備投資
供給能力強化、BCP強靭化



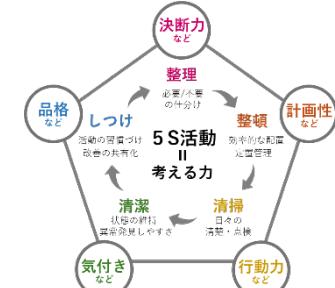
・海外戦略の強化

- 北米拠点Visnex Chemicals Corporation
- 韓国、上海、北米拠点による
チャネル戦略へ



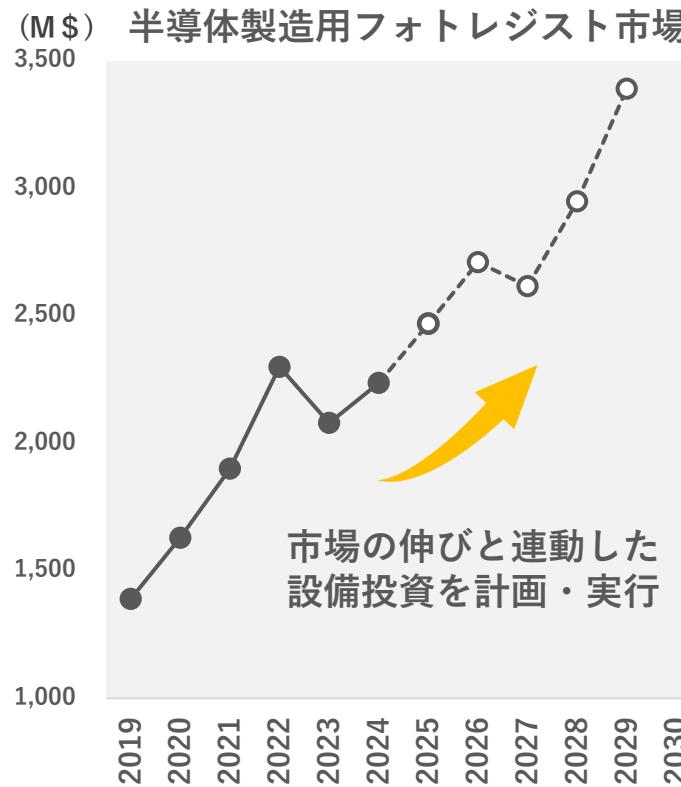
・人的資本経営

- 30年以上続く5Sの企業文化により
強みを支える基盤へ



中期経営計画 P&D 2030 半導体材料用 新設備投資

酒田工場に新規製造プラントを建設予定し、先端半導体用材料の生産能力強化と高純度化技術向上を計画。さらに、金沢工場との2拠点生産体制によるBCP（事業継続計画）を実現し、安定した供給体制を構築してまいります。



中期経営計画 P&D2030 施策 ①

中量実験室(EUV用)建設,稼働

試作フェーズにおける
評価/検証サイクルを高速化し、
工業化フェーズへの移行を加速



中期経営計画 P&D2030 施策 ②

先端半導体用材料の新規設備建設 (酒田工場 2026年~)

設備投資額 : 約100億円
対象商品 : 半導体関連材料
着工/完成 予定 : 2026年 着工 / 2028年 完成

金沢 & 酒田の複数拠点生産による
BCP 強靭化
安定した供給体制の構築

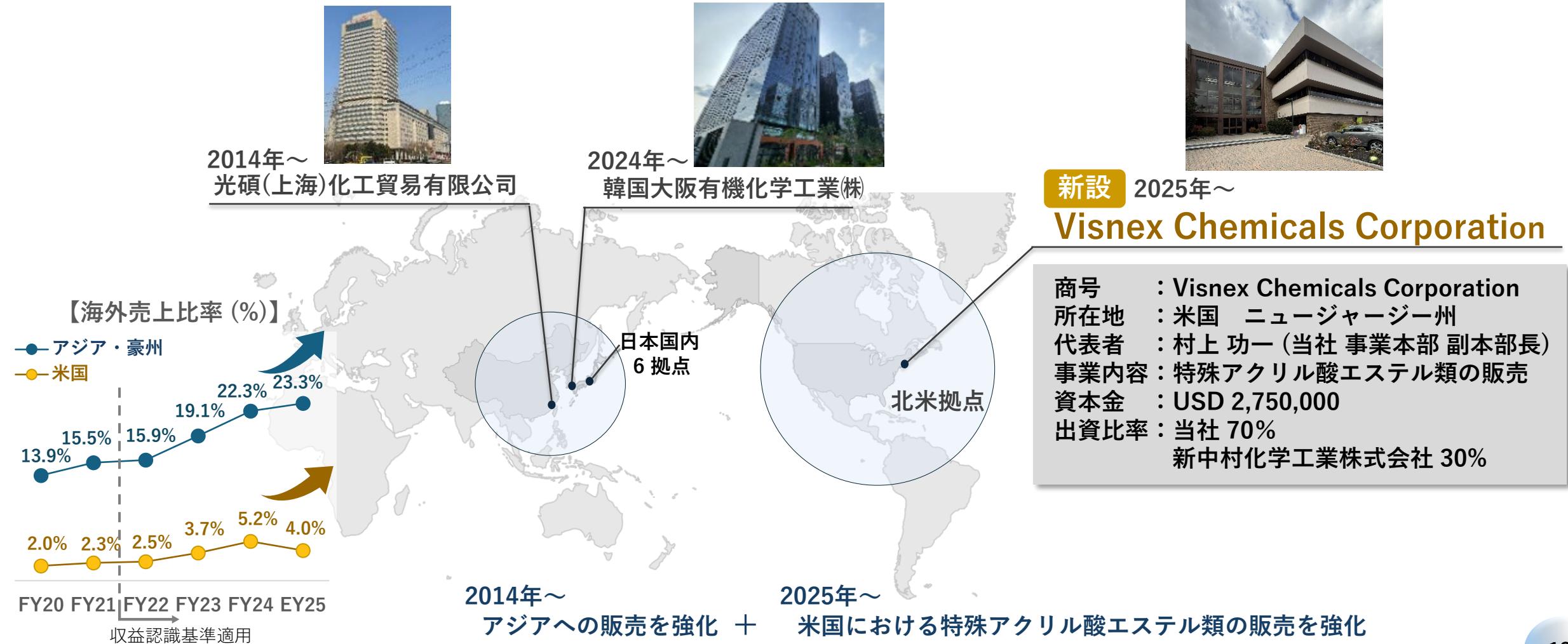
前中期経営計画 NS10 施策
金沢工場 プラント建設
投資実績 195 億円 (2019年~2023年)



※市場グラフは富士経済
「2024年 半導体材料市場の現状と将来展望」
を基に弊社作成

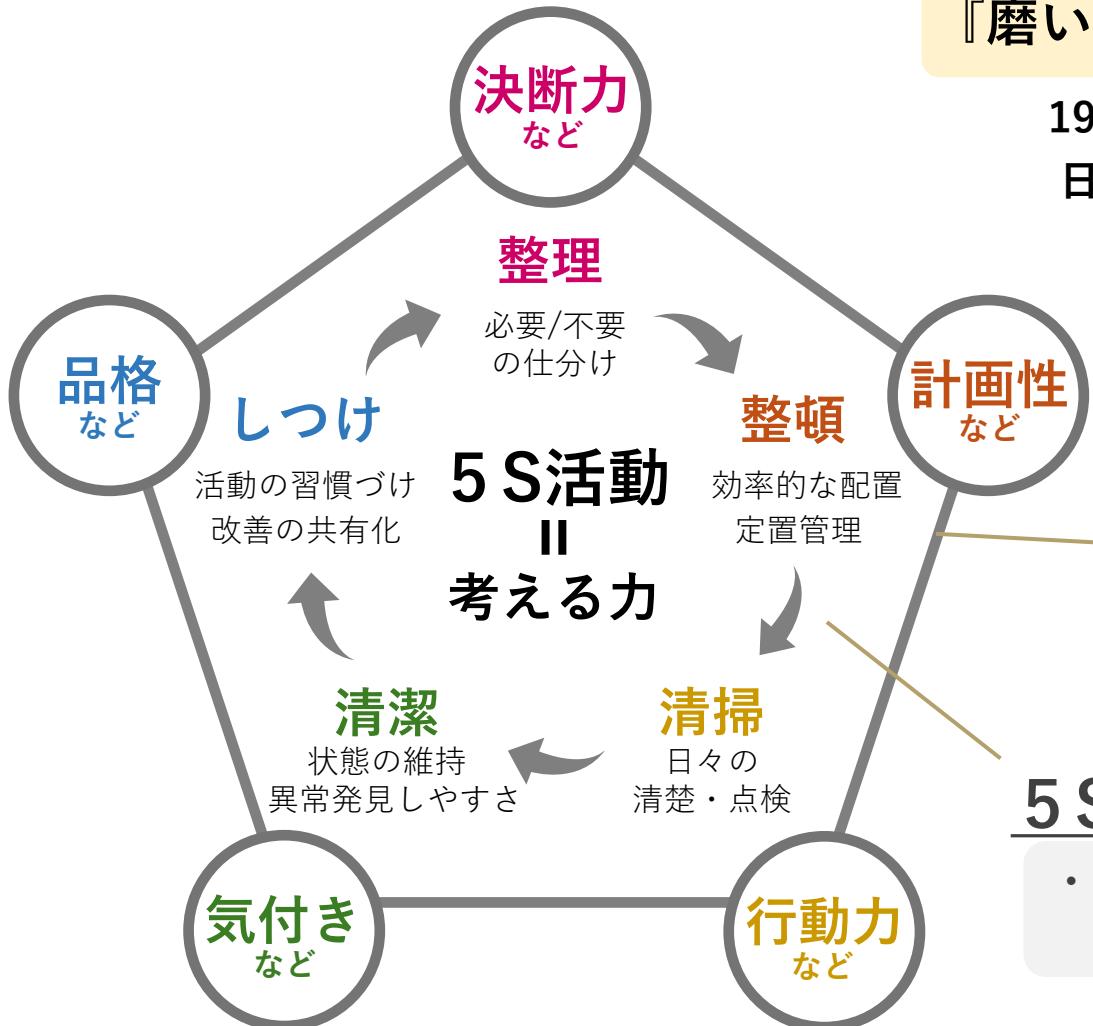
中期経営計画 P&D 2030 海外戦略の強化

2024年に韓国拠点を設置。さらに2025年に北米拠点として合弁会社(Visnex Chemicals Corporation)を設立。中国拠点と共にアジア・アメリカへの拡販に注力し、海外販売拡大に努めます。



人的資本経営～5S活動と人財育成～

30年以上活動を続けている5S活動により、保全や改善を常に検討する事が企業文化として根付いている。



OYPM活動 キャッチフレーズ

『磨いて創る人と信頼、化学反応で未来を変える』

1993年12月 キックオフ (OYPM活動)

日々の積み重ねにより、個人の成長、会社の発展へと昇華

会社の発展

- ・検討,改善が当たり前の社風
- ・企業文化として会社の強みを支える基盤に

個人の成長

- ・人を磨く
より良い人材への成長
- ・心を磨く
一人ひとりの個性尊重

中期経営計画 P&D 2030 キャピタルアロケーション

2025年10月に確定した補助金も加え、大規模な事業への投資を計画。
事業成長と効率化によって利益を最大化し、成長投資や株主還元により資源を適切に配分していきます。

累積営業CF

約 600 億円以上

※経費計上投資等の調整後、
税金支払い前

- ・投資による事業成長
- ・海外戦略強化による事業拡大
- ・効率化/自動化による生産性向上

2025年
10月 「サプライチェーン対策のための
国内投資促進事業費補助金」

31.4 億円

その他

- ・有価証券売却など
- ・株主還元以外の財務CF

累積投資

約 300 億円以上

- ・成長投資 180 億円以上
- ・基盤投資 120 億円程度

株主還元

- ・配当性向 40% 目安
- ・機動的な自己株取得

その他

- ・運転資本の増加、法人税手元資金充当など

【戦略的投資、成長戦略】

- 先端半導体用材料の開発強化

New ・酒田工場へ新規設備建設

投資額：約100億円

着工：2026年 / 完成：2028年（予定）

- ・中量実験設備設置
2026年～稼働（予定）

- 海外拠点設置

- ・2024年～韓国大阪有機化学工業（株）の設立

New ・2025年～北米拠点：Visnex Chemicals Corporation の設立

- その他：新プロセスでのアクリル酸エステル開発（共同研究）など

【2025年度予想値】

- ・配当：75 円（11年 連続増配）

- ・EPS：230 円 ※「サプライチェーン対策のための
国内投資促進事業費補助金」を除いて算出

- ・修正配当性向：32.6%

- ・2025年1月27日 自己株 800,000株（22.2億円）取得

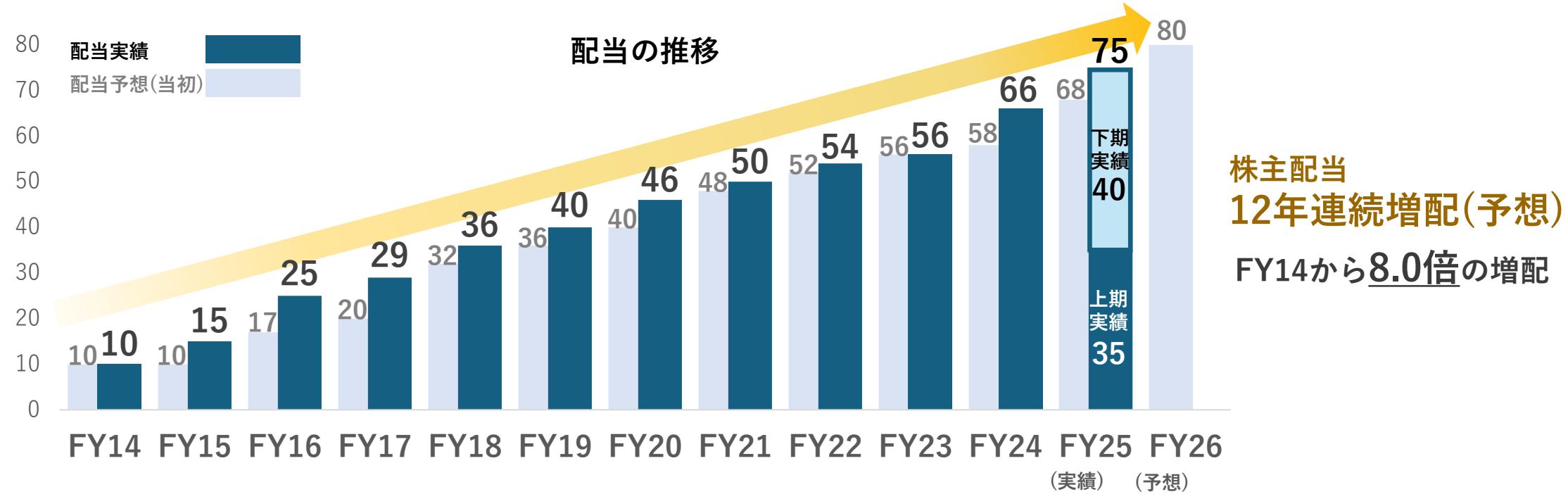
* EPS：1 株当たり当期純利益

1. 大阪有機化学工業株式会社について
2. 業績（実績と今期予想）
3. 成長戦略
4. 株主還元

株主還元

FY25株式配当はFY24に次いで大幅な増配を予定。11年連続増配予想。

配当性向 40%目安とし、機動的な自己株取得を実施しつつ株主還元向上につなげてまいります。



	(実績) (予想)											
EPS	39円	57円	91円	97円	121円	137円	150円	226円	217円	153円	191円	※230円 220円
配当性向	25.7%	26.4%	27.5%	30.0%	29.8%	29.2%	30.8%	22.2%	24.9%	36.6%	34.5%	※32.6% 36.4%
総還元性向	25.7%	37.9%	36.4%	30.0%	46.5%	29.2%	30.8%	22.2%	60.7%	54.7%	45.0%	※79.7% —
自己株取得	-	-	336 百万円	-	449 百万円	-	-	-	1,698 百万円	598 百万円	426 百万円	2,224 百万円 (2025年1月)

※ FY25の数値は「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」を除いて算出

ご清聴 ありがとうございました



“特殊アクリル酸エステル”のリーディングカンパニー

大阪有機化学工業株式会社

OSAKA ORGANIC CHEMICAL INDUSTRY LTD.

<https://www.ooc.co.jp>

証券番号 4187(東証プライム)

＜将来情報に関する注意事項＞

本資料の業績予想や経営計画は、現時点において見積もられた見通しや計画であり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
従いまして、実際の業績等は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

【お問い合わせ】
管理本部 IR・広報担当
TEL 06-6264-5071 (代表)

